



2023年2月7日

各位

会社名 メディアスホールディングス株式会社
 代表者名 代表取締役社長 池谷保彦
 (コード: 3154 東証プライム)
 問合せ先 取締役経営管理統括本部長 芥川浩之
 (TEL: 03-6811-2958 ir.m@medius.co.jp)

連結業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2022年8月5日に公表した2023年6月期の連結業績予想及び配当予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

1. 通期業績予想の修正について 記

(1) 2023年6月期通期連結業績予想数値の修正(2022年7月1日～2023年6月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	230,000	700	1,100	600	27.36
今回修正予想 (B)	230,000	1,300	1,750	1,100	50.17
増減額 (B - A)	0	600	650	500	
増減率 (%)	0.0	85.7	59.1	83.3	
(ご参考) 前期実績 (2022年6月期)	221,694	2,267	2,757	1,867	85.30

(2) 修正の理由

医療機器販売事業につきましては、引き続き、新型コロナウイルス感染症の流行が医療機関の経営状況に影響を及ぼし、一部の地域や診療領域において手術等の症例数は当初の想定ほど回復していない状況が続いているものの、新規顧客獲得や既存顧客におけるシェア拡大が進捗したことから、消耗品の販売は堅調に進んでおり、売上高は予測通り推移する見込みであります。一方、ウクライナ情勢や円安の影響を受け、売上原価は増加傾向にありますが、営業活動を強化し収益改善を図ることで利益率の確保に努めた結果、売上総利益は期初予想を超過する見込みになりました。

販売費及び一般管理費においては、当初の計画通り当社子会社の(株)栗原医療器械店における新物流センターに関する減価償却費等の費用が発生しておりますが、主要子会社における営業拠点移転等の執行時期を変更したこと、実施案件の費用抑制に努めたこと及び業務効率化を推し進めたことで、期初予想を下回ることが想定され、その結果、営業利益が計画を上回る見通しとなりました。

加えて、当第2四半期に投資有価証券を売却し特別利益を計上したことで親会社株主に帰属する当期純利益においても期初予想を上回る見込みであります。

以上から、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益について期初予想を上回る見通しとなりましたので修正を行うものです。

2. 配当予想の修正について

(1) 2023年6月期配当予想の修正

基準日	1株当たり配当金		
	第2四半期末	期 末	年 間
前回予想 (2022年8月5日公表)	—	14円	14円
今回修正予想	—	18円	18円
当期実績	0円		
(ご参考) 前期実績 (2022年6月期)	0円	19円	19円

(2) 修正の理由

当社は、株主の皆様に対する利益配当につきましては、中・長期にわたる安定的な成長を維持するために必要な内部留保を確保しつつ、その成長に応じた成果の配分を実施することを基本方針とし、配当水準として連結での配当性向30%以上を基準としております。

2023年6月期の配当予想につきましては、上記の方針及び業績予想の修正等の状況を勘案し、期末配当を前回予想から4円増配し、1株当たり18円へ修正させていただきます。

※上記に記載した予想数値は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績及び配当は今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上